

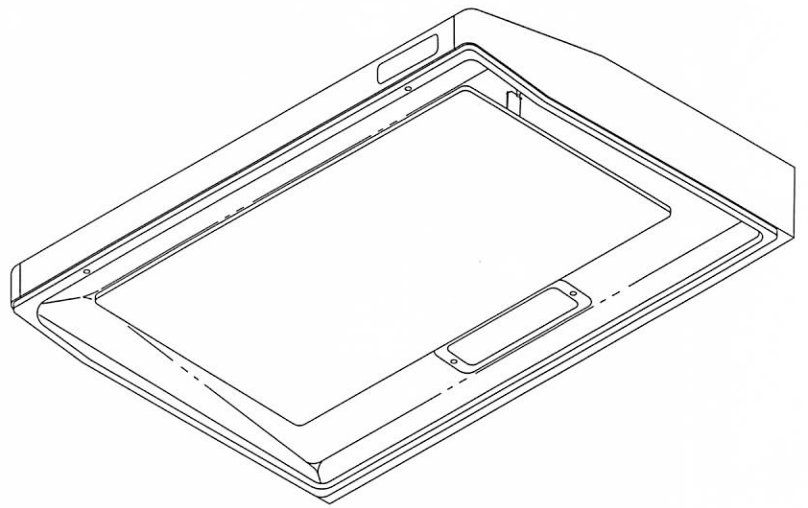
取扱説明書

レンジフードファン

このたびはレンジフードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、取付説明書とともに大切に保存してください。製品によっては多少デザインが異なる場合がございます。



も く じ

	ページ
安全上のご注意	2・3
各部のなまえ	4
ランプの交換のしかた	5
使いかた	6・7
お手入れのしかた	8・9・10・11
故障かなと思ったら	12
アフターサービス	12
仕 様	13

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意 : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる人がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

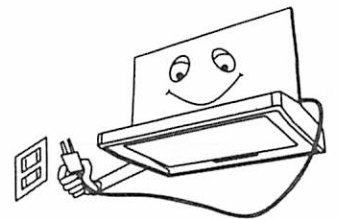


分解・修理・改造禁止

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、入/切しないこと
感電やけがをすることがあります。



プラグを抜く



- 電気製品は、水につけたり水をかけたりしないこと
発火したり感電することがあります。



水ぬれ禁止



- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと
火災の原因になります。



ほこりをとる

- ガス漏れのと看、スイッチを入/切しないこと
ガス爆発の原因になります。



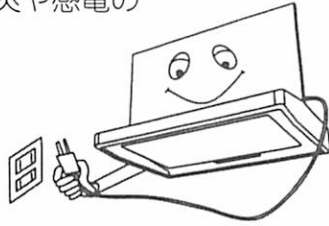
操作禁止

⚠ 注 意

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。



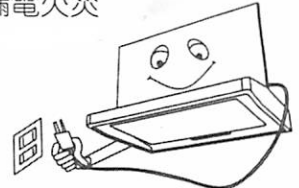
プラグを持って抜く



- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



プラグを抜く



- 羽根や部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります。



取付注意



- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをすることがあります。



接触禁止



- 調理中は、フィルターや周辺の部品に手を触れないこと
フィルターや部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。



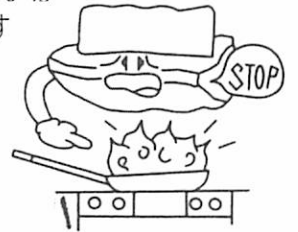
接触禁止



- 調理中、油に火がついたときは運転を止めること
運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です



運転禁止



- 交流100V以外では使用しないこと
火災の原因になります。



使用禁止



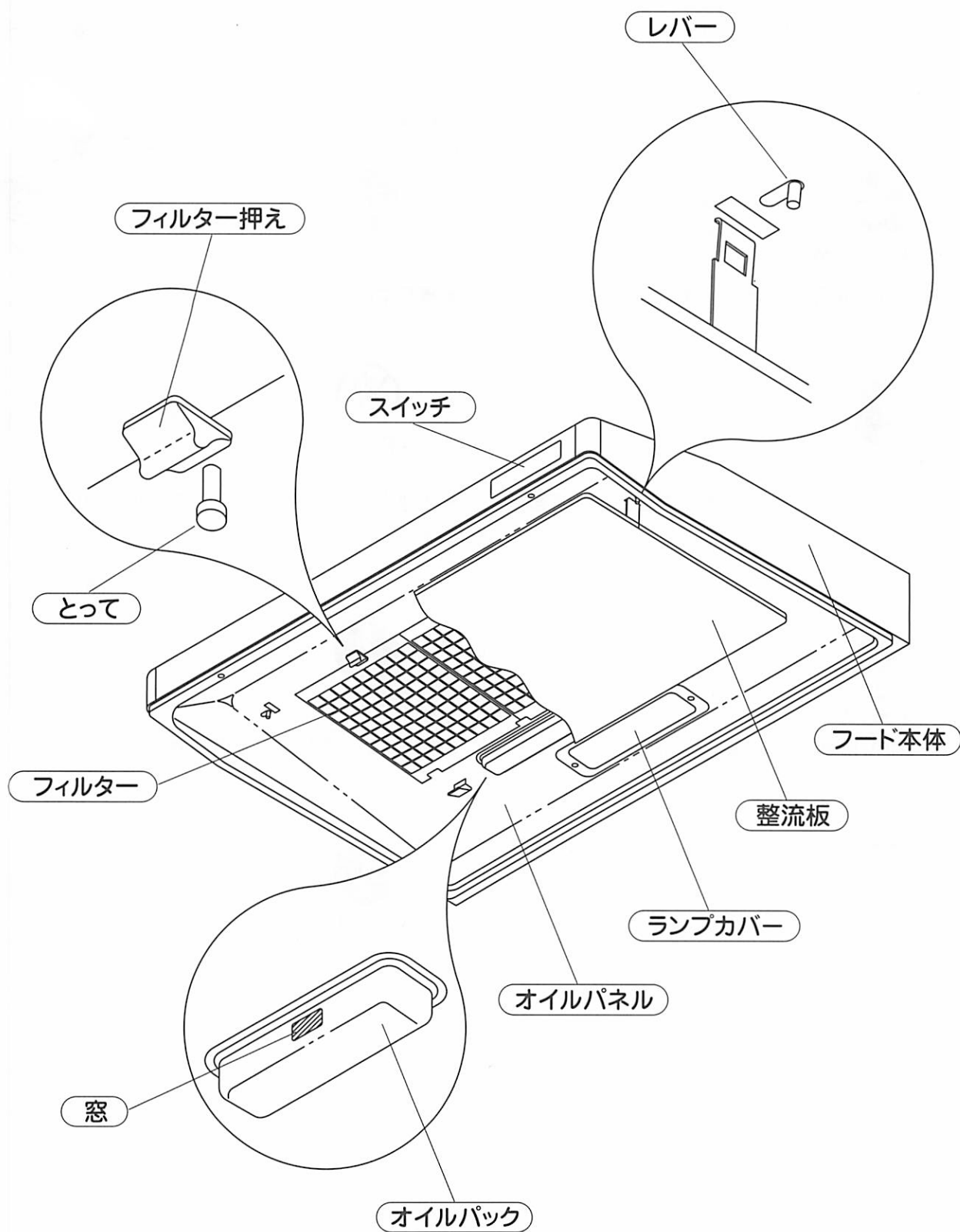
- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



手袋をする



各部のなまえ



ランプの交換のしかた

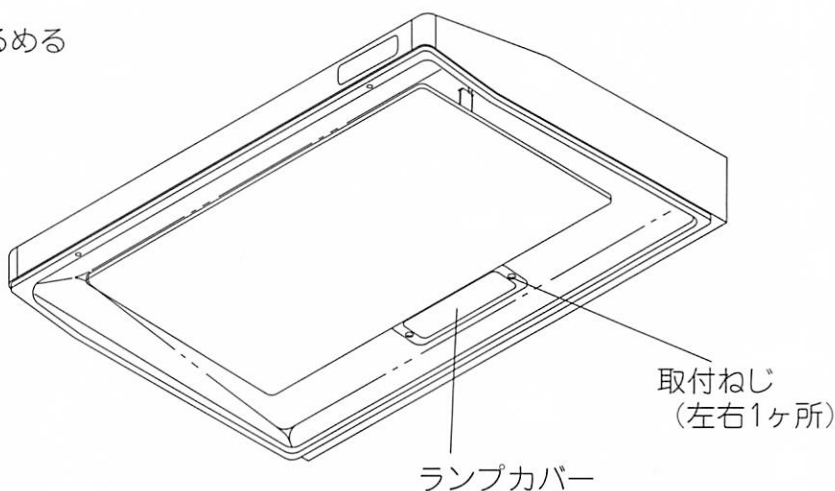
ご使用中ランプが切れた時は、市販のミニ電球(定格100V40W・口金径17mm)を購入し交換してください。

ご注意

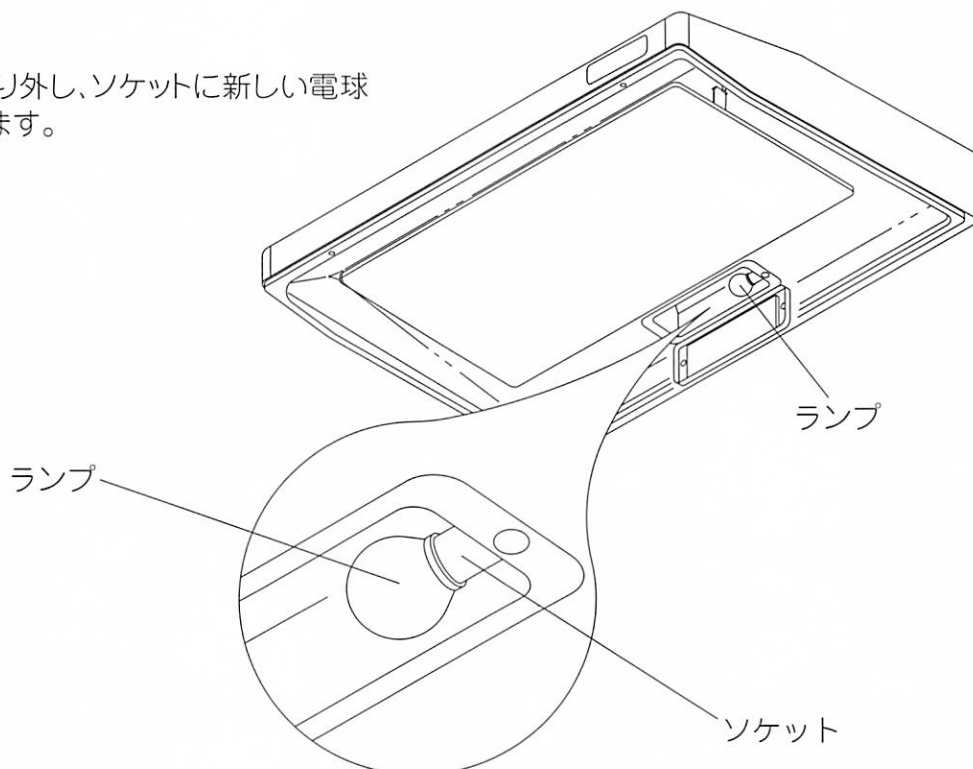
- ランプの交換は、**停止** スイッチを押して運転停止状態にし、**照明** スイッチを「切」の状態にしてから行ってください。
感電する恐れがあります。

ランプの交換方法

- (1) ランプカバーを外します。
ランプカバーの取付ねじ2本をゆるめると外れます。



- (2) 電球を外します。
切れた電球を取り外し、ソケットに新しい電球を確実に固定します。



- (3) ランプカバーを取り付けます。
ランプカバーの取付ねじ2本を、しっかり締め付けてください。

使いかた

使用上のご注意

⚠ 注意

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをすることがあります。



接触禁止



- 調理中は、フィルターや周辺の部品に手を触れないこと
フィルターや部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。

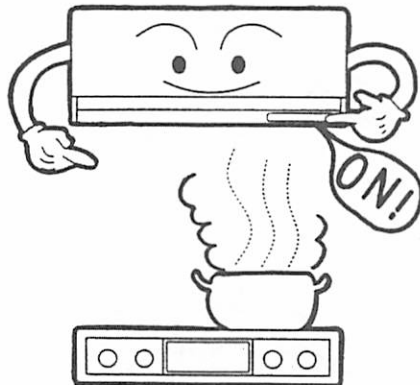


接触禁止



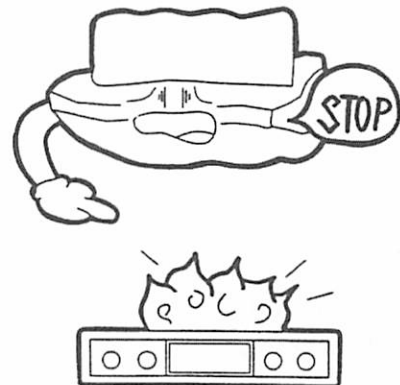
- 調理器具を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください。

運転しないとフード内の温度が上がり、高熱による故障の原因となります。



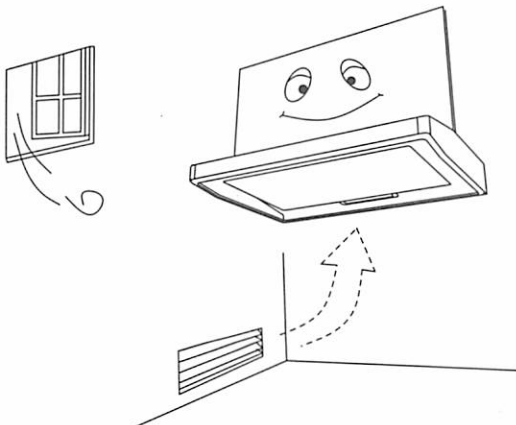
- 調理器具の空炊きは絶対にしないでください。

レンジフード内の温度が高くなり、故障の原因になります。



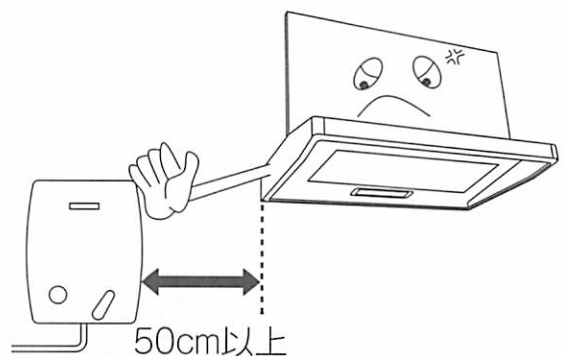
- 調理中は給気を行ってください。

レンジフードの反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します。

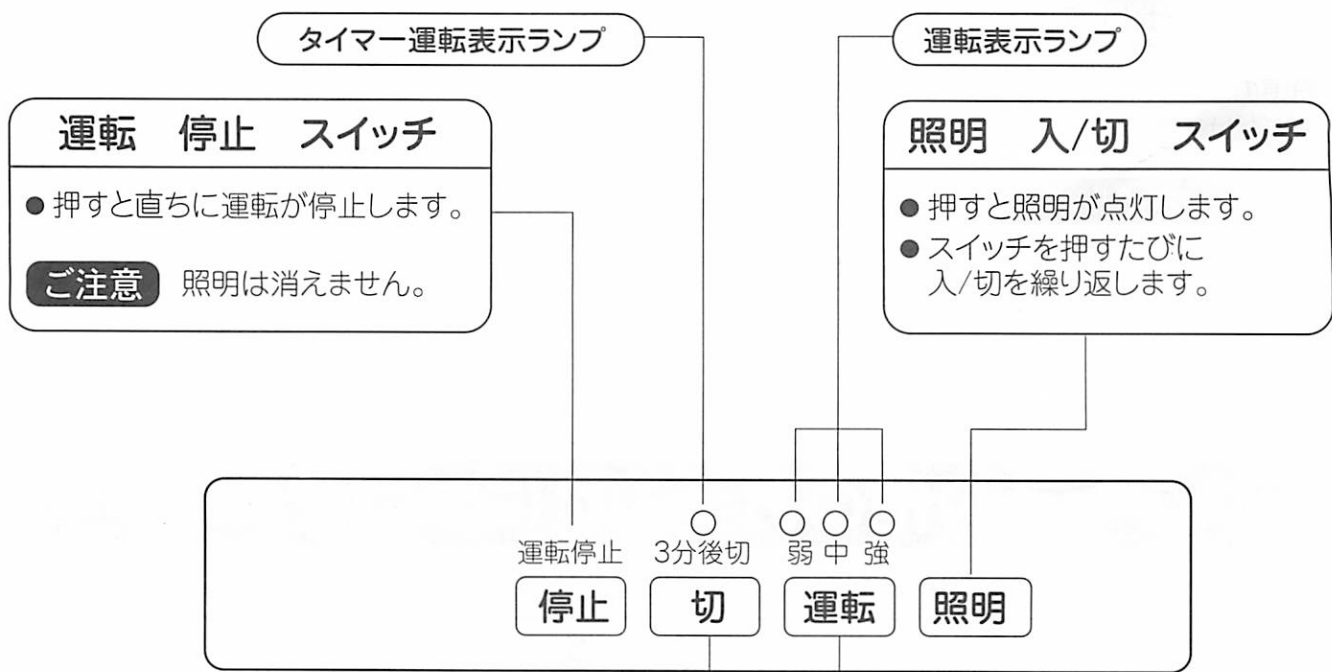


- 湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください。

ガス湯沸器周辺はかなり高温になるので50cm以上離してください。
湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取り付けないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります。



操作スイッチの使いかた



運転 停止 スイッチ

- 押すと直ちに運転が停止します。

ご注意 照明は消えません。

照明 入/切 スイッチ

- 押すと照明が点灯します。
- スイッチを押すたびに入/切を繰り返します。

3分後 切 スイッチ

- 通常、調理が終わった後は、**3分後 切 スイッチ** を押してください。

3分後 切 スイッチ を押すと、そのままの風量で約3分間運転し続けて自動的に運転を停止します。

- *3分間のタイマー運転により、調理のあとの臭いやファンについた油汚れなどを落とします。
- *照明は消えません。

照明は **照明 入/切 スイッチ** を押すと消えます。

運転・風量切換 スイッチ

- スイッチを押すたびに設定が切り換わり **運転表示ランプ** が移ります。

弱 → 中 → 強

- 弱** 煙の少ないとき。静かに運転したいとき。
- 中** 通常の運転のとき。
- 強** 煙の多いとき。早く換気したいとき。

切り忘れ防止タイマー

このレンジフードは、最後に操作したときから約5時間運転し続けると自動的に運転を停止し、照明を消灯します。

再び運転するときは、**運転・風量切換 スイッチ** を押してください。

* リモコンスイッチの使い方は、リモコンスイッチに付属の取扱説明書をご覧ください。

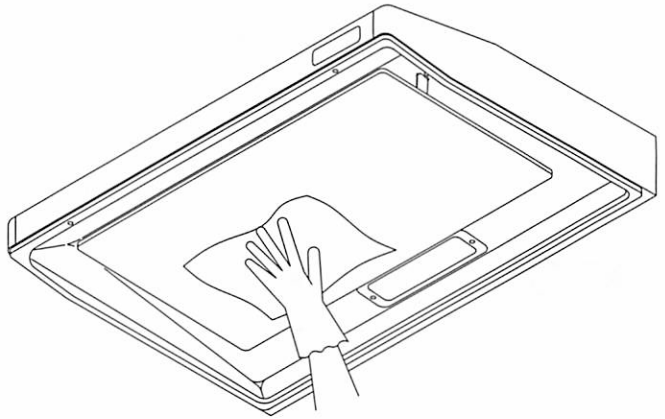
お手入れのしかた

日常のお手入れ

- フッ素加工仕上げの整流板・オイルパネル付きレンジフードです。
日頃のお手入れは、この整流板・オイルパネルを拭くだけです。

整流板・オイルパネル

調理終了後や後片付けの際、サッとひと拭きするだけで簡単にお掃除できます。



その他のお手入れについて

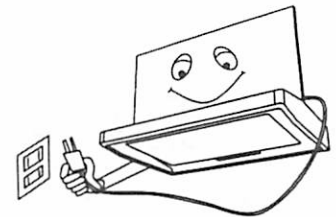
*フィルター・オイルパック等のお手入れの際は、注意事項を必ず守ってください。

警告

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、入/切しないこと
感電やけがをすることがあります。



プラグを抜く

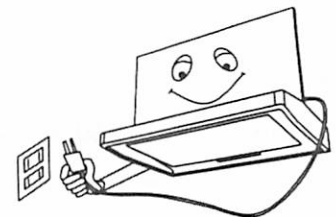


注意

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。



プラグを持って抜く



警告

- 電気製品は、水につけたり水をかけたりしないこと
発火したり感電することがあります。



水ぬれ禁止



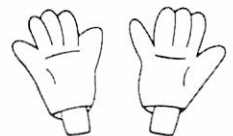
注意

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。

手袋を!



手袋をする



ご注意

- 調理直後の整流板は熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- こまめにお掃除してください。
特にフィルターは汚れやすいので1ヶ月に1度程度の頻度でお掃除してください。
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにお掃除いただきますと汚れも簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。
- シンナー、ベンジン、灯油、みがき粉などは使用しないでください。ツヤがなくなったり、変色や塗装はがれの原因になります。
- アルカリ洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんなどの中性洗剤以外の洗剤のご使用はおやめください。
- 60℃以上の熱湯は使用しないでください。プラスチック部品が変形します。
- スイッチなどの電気部品には直接洗剤などをかけないでください。故障の原因になります。
- フィルターは専用のものをご使用ください。一般市販品をご使用になりますと、通気抵抗が大きくなり、吸い込みが悪くなったり音が大きくなり故障の原因となる恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

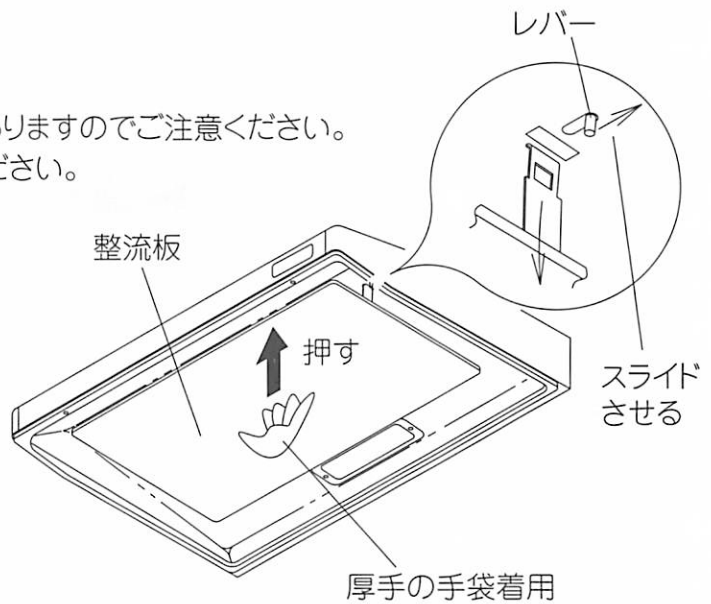
整流板

ご注意

- 調理直後の整流板は、熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- 整流板は重いので、外す際は十分注意してください。

1. 整流板を外します

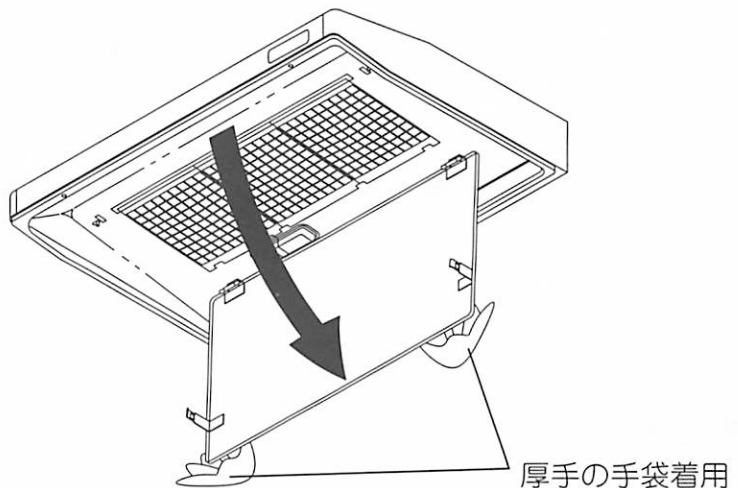
- (1) 整流板を手で支え、少し押し上げる様にして整流板の両脇にあるレバーを片側ずつスライドさせて外します。



ご注意

レバーをスライドさせる際は、整流板を手でしっかり支えてください。
落下の原因になります。

- (2) 整流板を必ず両手で支えながら、整流板を下へゆっくりおろします。



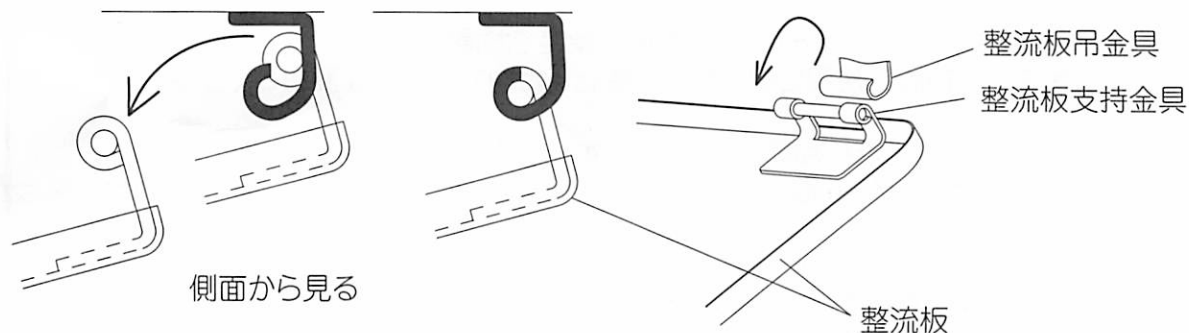
ご注意

整流板をお手入れする際は、オイルパネルから取り外して行ってください。
(10ページ参照)

お手入れのしかた (続き)

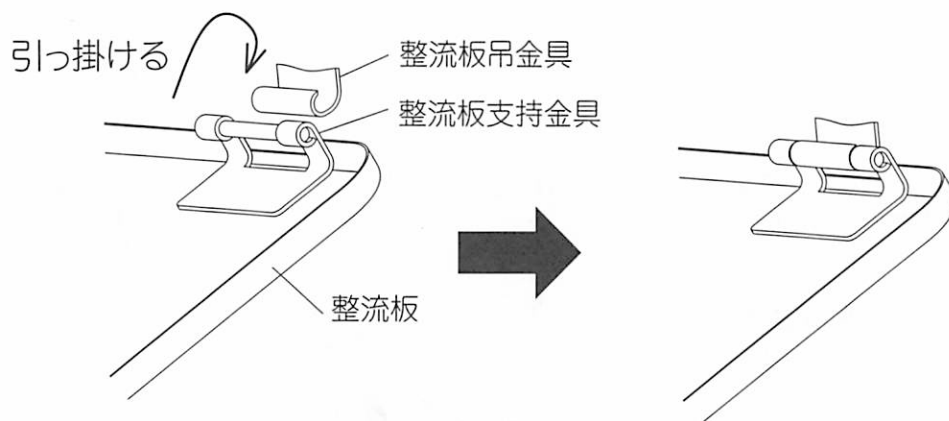
整流板の取り外し

* 整流板の後ろを持ち上げ、整流板吊金具から整流板支持金具を外します。

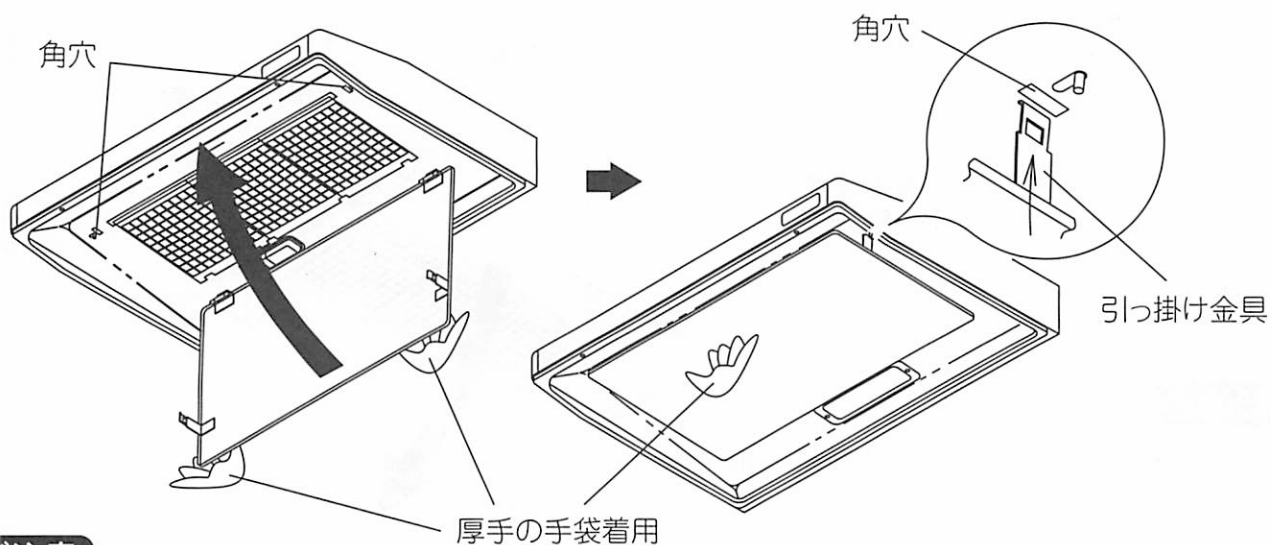


整流板の取り付けかた

* 整流板の整流板支持金具を、整流板吊金具2ヶ所のツメに確実に引っ掛けてください。



* 整流板を両手で支えながら先端を上を持ち上げ、両脇にある引っ掛け金具をフード内面の角穴に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。



ご注意

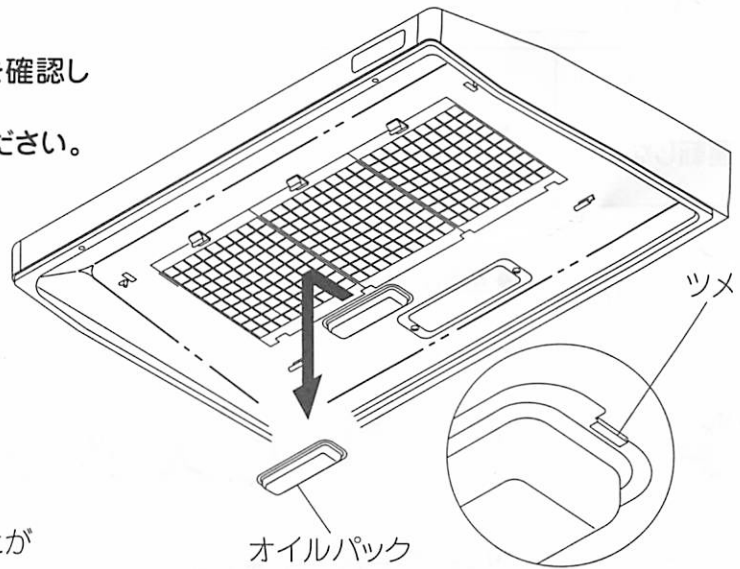
整流板の固定は、確実に行ってください。ロックが不十分ですと落下の原因になります。

オイルパック

* オイルパックの中にたまっている油の量を確認してください。

月に一度程度、たまっている油を捨ててください。

1. オイルパックを取り外します。
オイルパックを手前に引いて油をこぼさないように水平に持ちながらツメから外してください。
2. オイルパックを取り付けます。
オイルパックをツメに引っ掛け、奥に押し込みます。



ご注意

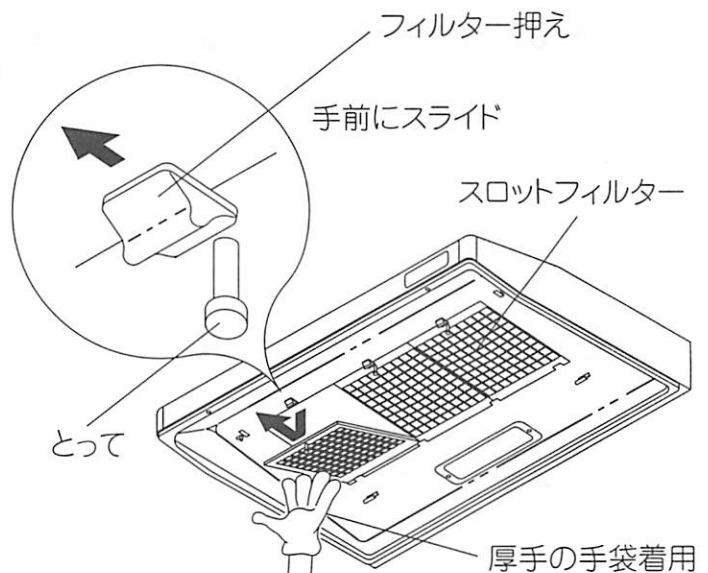
ご使用の状況により、油がたまらないことがあります。異常ではありません。

フィルター

■スロットフィルターのお手入れ

1ヶ月に1度程度、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち、金属以外のタワシやスポンジなどで洗ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。

1. フィルターを取り外します。
スロットフィルターは「とって」を持って「フィルター押え」を手前側（矢印方向）にスライドさせて手前に引くと外れます。
2. スロットフィルターを取り付けます。
スロットフィルターの「とって」の付いている方を手前側にして、奥側をオイルパネルの受け部に差し込み持ち上げ、「フィルター押え」を奥側（矢印方向）にスライドさせて固定します。

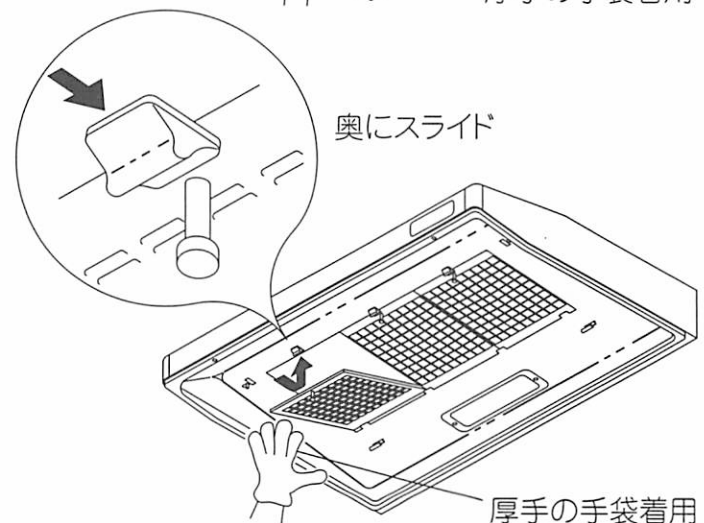


ご注意

フィルターを外すときは、必ず手を添えてください。
添えないと手前に倒れて、けがをする恐れがあります。

ファンケーシング

- ファンケーシング内の油脂分は、遠心分離によりオイルパックに集められます。



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に 次の点をもう一度お調べください。

症 状	点 検 す る と こ ろ
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
振動・騒音が大きくなった	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターの汚れが多くなっていませんか。 ●空気の取り入れは十分ですか。 ●ファン固定用ツマミが緩んでいませんか。

アフターサービス(必ずお読みください)

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を製造打切り後6年間保有しています。
(補修用性能部品とは、その後の機能を維持するために必要な部品です。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 製品の保証期間は、お買い上げ後、取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常のご使用状態において1年間です。ただし、次の場合には、保証期間内でも有料になります。
 - (1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障及び損傷。
 - (2) 使用上の誤り、改造等による故障及び損傷。

修理を依頼されるときは

出張修理

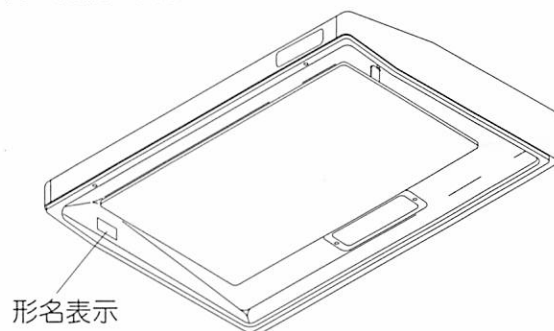
12ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用中を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品 名	レンジフードファン
形 名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

ご注意

レンジフードファンの形名は、オイルパネルの左側面内側に表示してあります。



愛情点検



★長年ご使用の換気扇の点検を

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用
中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

仕様

性能	電圧 (V)	速度調整	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
					0Pa時	100Pa時	
BL III型 相当品	100	強	50	115	610	430	45
			60	125	550	440	44
		中	50	59	320	—	34
			60	59	290	—	33
		弱	50	26	170	—	22
			60	25	150	—	23

性能	電圧 (V)	速度調整	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
					0Pa時	130Pa時	
BL IV型 相当品	100	強	50	120	660	500	48
			60	149	660	550	48
		中	50	75	400	—	36
			60	76	340	—	33
		弱	50	83	200	—	23
			60	87	170	—	22

消費電力、風量、騒音の測定はJIS C 9603による。

●レンジフードファンに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。



×

毛





×

≠



お客さまメモ

後日のために記入しておいて
ください。

サービスを依頼される時、
お役に立ちます。

購入店名

電話 () —

ご購入年月日

平成

年

月

日

〔製造元〕 **富士工業株式会社**

〒229-0006 相模原市淵野辺2丁目1番9号
お客様ご相談窓口 ☎ 0120-071-686
受付時間 9:00～18:00
(土、日、祝日、夏期休暇、年始年末を除く)

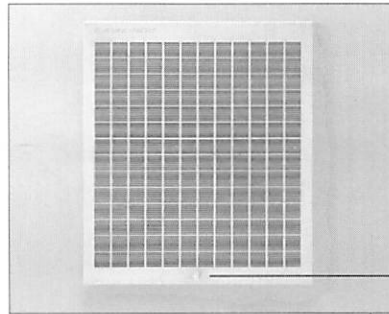
購入のご案内

レンジフード用フィルター

レンジフード用別売フィルターを各種取り揃えています。

注意

レンジフードによって使用するフィルター種類・枚数・金額が異なります。
詳細は下記フリーダイヤルの「フジテックメンテナンス」までお問い合わせください。



*市販のフィルターをご使用になりますと排気風量が低下したり、音が大きくなったりと故障の原因になることもありますので使用しないでください。レンジフード本来の性能を損なわない金属製レンジフード用フィルターのご使用をお勧め致します。

1枚 2,800円～(税込)

下図を参考に刻印をお確かめの上お申し込みください。



さっとれ〜る[®]

ペーパーに植物性洗剤を染み込ませたウェットティッシュタイプの洗剤です。液ダレせず、汚れが手軽に拭き取れます。



1袋5枚入

10袋1セット 2,000円(税込)

コンロ周辺の油污れにもお使いください。

「さっとれ〜る」は、富士工業の登録商標です。商標登録 No.4391352

SFクリーナー

油污れに強く、安全性の高い液体洗剤です。一般の洗剤では落ちにくい油污れのお掃除に是非お使いください。



スプレーセット 1,500円(税込)

ハンドスプレー 450ml×1本
詰替ボトル 1000ml×1本

詰替セット 1,700円(税込)

詰替ボトル 1000ml×2本

お申し込み・お問い合わせは、
販売窓口の「フジテックメンテナンス」まで

フリーダイヤルもしくはFAXで受け付けております。

フリーダイヤル **0120-227-266** FAX **042-768-3383**

送料は別途頂きます。

お支払い方法は代金と商品引きかえの代引き配送となりますのであらかじめご了承ください。

《ご注意》

訪問販売による高額な使い捨てフィルターのクレームが多発しておりますが、当社とは一切関係ありません。

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

当社はおお客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報は、ご注文品の発送や確認業務、アフターメンテナンスの対応などに利用することとし、それ以外の目的には利用いたしません。

オイルトレイは整流板の中に設置してありますので整流板を外してから取り出してください。

整流板の外しかた

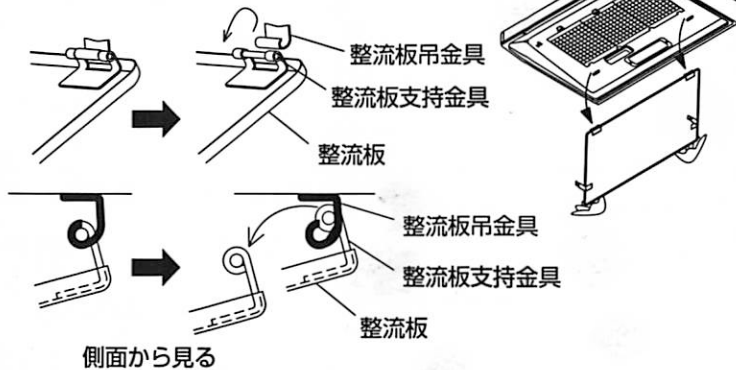
1. 整流板を手で支え、少し押し上げる様にして整流板の両脇にあるレバーを片側ずつスライドさせて外します。

お願い

レバーをスライドさせる際は、整流板を手でしっかり支えてください。落下の原因になります。

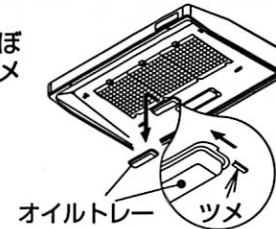
2. 整流板を必ず両手で支えながら、整流板を下へゆっくり降ろします。

3. 整流板の後ろを持ち上げ、整流板吊金具から整流板支持金具を外します。



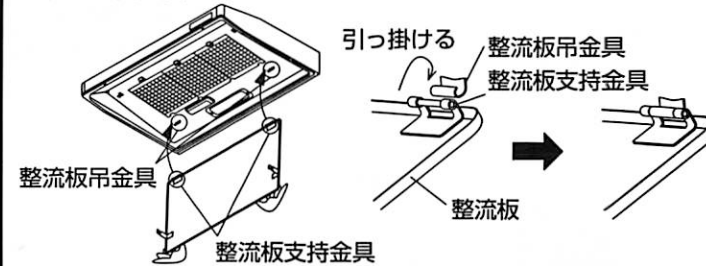
オイルトレイの着脱のしかた

1. オイルトレイの外しかた
オイルトレイを両手で持ち、油がこぼれないように水平に手前に引いてツメから外してください。
2. オイルトレイの取り付けかた
オイルトレイをツメに差し込み、奥一杯に押し付けて取り付けてください。

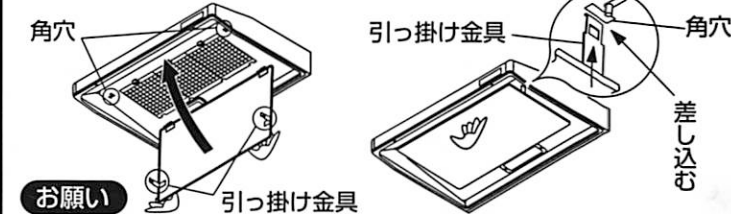


整流板の取り付けかた

1. 整流板の整流板支持金具を、整流板吊金具2ヶ所のツメに確実に引っ掛けてください。



2. 整流板を両手で支えながら先端を上を持ち上げ、両脇にある引っ掛け金具をフード内面の角穴に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。整流板がロックされます。



お願い

整流板の固定は、確実に行ってください。ロックが不十分ですと落下の原因になります。

詳しい取り扱い方法については、取扱説明書をお読みください。

183E 9081

☆別売フィルタ
☆レンジフード専用洗剤
の御用命は
☎ 0120-227-266
詳しくは取扱説明書
同封の資料で！
9046 3382

お 願 い

故障時の連絡先については
取扱説明書をご覧ください。

- 本製品の性能部品は、一般市販のものとは交換して使用しないでください。特に、グリスフィルターは一般市販品をご使用になりますと排気風量が低下したり、音が大きくなり故障の原因となる恐れがありますので、絶対に止めてください。
- 1. 調理器具の空だきは製品の損傷や、過熱による故障の原因になりますので絶対にしないでください。
- 2. お掃除や電球の交換の際は必ず電源プラグを抜く、または、分電盤のブレーカを切って行なってください。
(分電盤のブレーカを切る場合は他機器の電源も切れる恐れがあります)
- 3. お手入れのときは、薄板の切口などで手を切る恐れがありますので、厚手の手袋を着用してください。
- 4. モーター、スイッチなどの電気部品は、水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないでください。
- 5. グリスフィルター、ファンのお掃除は中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち、金属以外のタワシなどで汚れを洗い落してください。グリスフィルターは月に1度程度掃除してください。
- 6. シンナー、ベンジン、灯油、ミガキ粉、アルカリ性洗剤などのご使用は塗装面をいためますので使用しないでください。
- 7. 照明を使用すると周囲が熱くなっている場合がありますので、お手入れや電球交換は十分冷めてから行ってください。照明装置付の場合、電球は必ずミニ電球定格100V・40W以下を使用してください。